

平成30年度第1回東成区区政会議（全体会議）

1 開催日時 平成30年6月20日（水） 19時00分から20時45分まで

2 開催場所 東成区民センター大ホール

3 出席者の氏名

【委員】

米原 俊夫（議長）、池田 カヅ子、石川 洋志、石田 和美、石塚 克哉、井上 吉史、岡倉 三郎、貝本 實次、北村 旺加子、齊藤 小栄子、下村 直美、神藤 加代子、末光 京子、高野 千壽子、高橋 芙美子、田中 良和、茶谷 儀夫、東方 宏祐、徳永 政喜、永門 武志、中谷 誓吾、鍋田 仁史、林 正則、藤井 宣昭、藤溪 達夫、松田 好行、三枝 直美、森井 フミ子、吉本 紀美子

【市会議員】

川嶋 広稔、岡崎 太、則清 ナヲミ

【東成区役所】

麻野 篤（東成区長）、萩 純一郎（東成区副区長）、足立 幸彦（総務課長）、中須賀 孝（総合企画担当課長）、大野 聡（市民協働課長）、井上 徳久（まちづくり担当課長）、西山 明子（保健福祉課長）、北野 紀子（児童・保健担当課長）、後藤 美里（総合企画担当課長代理）、植田 浩史（市民協働課長代理）、藤原 吉生（まちづくり・にぎわい創造担当課長代理）、松穂 好純（まちづくり・教育支援担当課長代理）、大野 孝文（児童・保健担当課長代理）、高村 真治（総務課担当係長）、志賀 浩（市民協働課担当係長）、太田 全昭（市民協働課担当係長）、細山 博文（保健福祉課担当係長）、石野 靖子（保健福祉課担当係長）、大川 真吾（保健福祉課担当係長）

4 委員に意見を求めた事項

平成29年度東成区運営方針の振り返り等について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

【大藪係長】 本日はお忙しい中、東成区区政会議にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

ただいまから平成30年度第1回東成区区政会議を開催いたします。私は、東成区役所総務課総合企画担当の大藪でございます。よろしくお願いします。

まず冒頭に、区長の麻野よりご挨拶させていただきます。

【麻野区長】 皆さん、こんばんは。区長の麻野でございます。

本日は、非常にお足元のお悪い中、たくさんの方にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。本来であれば、いろいろご挨拶をさせていただくところなんですけれども、ちょっとこの時間を使いまして、先般の地震の対応について、お話をさせていただきたいと思っております。

今般の地震につきましては、皆様方に本当にいろんな局面でご協力いただきまして、ありがとうございます。これまでの経緯については、詳しくは追ってこの後担当の大野課長から説明させていただきますけれども、簡単に私からご説明したいと思います。

まず、区民の皆様、それから民生委員の皆様、福祉活動サポーター、それから社協の皆様をはじめとしまして、地域の方を含め、それぞれの立場で本当にたくさんのご支援をいただきました。ありがとうございます。手前みそになりますけれども、区役所のスタッフも3時間、4時間かけて、自転車ですとか徒歩で集まってまいりました。本当に心強いと思っております。

このたびの地震では、5名の方が亡くなっておられます。私としましても、ご冥福をお祈りする次第でございます。それから、被害を受けられました町の復興、それからおけがをされた方々の回復をお祈りしております。亡くなった方の中には、東淀川区の登校の見守りボランティアの方がいらっしゃいました。地域のボランティアの方が亡くなったということで、私も非常に心を痛めておるところでございます。それからもう1つは、高槻市の例でございますけれども、小学生が亡くなっていらっしゃいます。これはこの後、専門的な検証が行われるんだと思っておりますけれども、今のところ、高槻市の教育委員会も基準に適合していなかったと言っております。学校の施設の不備が原因だとしますと、一体どういう基準で、どういう経緯でそういった建物ができたのか、そういった建築物ができたのか。あるいは、どういった議論でなったのか、そこは検証の経緯をずっとフォローしていきたいと思っております。

当区にもいろんな建築物がございます。学校だけではなくて、区役所や区民センターなども含めて、いわゆる公共の施設がございます。こういったところも含めまして、行政が造るものですから、基準に適合していないというのは、私はあり得ないと思っておりますので、今一度、全部点検していきたいと思っております。皆様のまたご協力もお願いしたいと思っております。

もう1つ、仮にもし、高槻市の事例ですけれども、住民の方が危険な状態にお気づきになられていて、それが学校ですとか行政にちゃんと伝わっていなかったとすると、これは地域と行政と学校のコミュニケーションが、連携がちゃんと取れてなかったんじゃないかなと思います。もちろん、そういった断定はできないんですけれども、仮にそうだとしたら、やっぱりそこは地域や行政や学校のコミュニケーション、連携をうまくすることによって、解決の方法ですとか、対応の方法を考えることができたんじゃないかなと思います。東成区でも、東成区は地域、行政、学校それぞれ非常にコミュニケーションよく連携が取れているものと思っておりますけれども、この部分は引き続き私たちも課題としてしっかりと連携をとるように、コミュニケーションをよくするように、風通しをよくするようにしていきたいなと思っております。

この区政会議も、そういう意味では、コミュニケーションの場だと思っておりますので、ぜひ皆様方の忌憚ないご意見等をお聞かせいただけたらなと思っております。

それでは、大野課長から、経緯を説明させていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

【大野課長】　こんばんは。防災を担当しております市民協働課長の**大野**でございます。

先日発生しました大阪府北部地震の概要につきましてご説明させていただきます。着席させていただきます。

まず発生日時ですけれども、平成30年6月18日月曜日の7時58分ということで、震源地が大阪府の北部になります。地震の規模がマグニチュード6.1に変わったということで聞いております。各地の震度ですけれども、大阪市の北区茶屋町で震度6弱、東成区では東中本で震度4を計測しております。

被害の状況ですけれども、まず人的被害、これは東小橋のマンションで、女性がエレベーターに閉じ込められたというのが1件、報告がございました。あと家屋の被害ですけれども、屋根瓦の落下、あるいはモルタルの壁の落下等々、それが11件ほど報告されてお

ります。いずれも東成の消防署を中心に対応させていただいております。あと通学路の点検、こちらにつきましては、全校、学校が目視にて確認させてもらっております。特にブロック塀を中心に重点的に点検させていただいております、老朽化等もあるんですけれども、クラック等目立つ部分については、特に対応が必要と思われるものについては、教育委員会と情報共有していきたいと考えております。

あと要配慮者、独居老人等の確認ですけれども、これも保健福祉課、民生委員さん、サポーターさん、あるいは包括支援センターさんなどにより、安否の確認を行っております。

あと区役所の対応経過ですけれども、当日7時58分、地震発生後8時1分に大阪市全職員に1号動員の発令ということで、8時30分に東成区の災害対策本部を設置いたしました。8時48分に各小中学校災害救助部長様のほうへ災害時避難所の準備の要請をいたしました。これにつきましては、11時05分に開設しないということで、判断がなされております。ですので、東成区は、避難所は開設しておりません。それと10時39分に市長が、大阪市内の市立の幼稚園、保育所、小学校、中学校、高校ですね。これは休校指示ということで出ました。あと12時、16時に大阪市の災害対策本部会が開催されております。18時06分に動員の態勢を1号動員から4号動員に縮小ということで変更になっております。翌19日火曜日の17時20分、5時20分に再度動員態勢が4号から5号に変更ということで縮小されております。

そのほか、区役所の動員の参集状況ですけれども、9時の段階で区役所の職員50名しか集まってなかったんですが、結局夕方には163名の職員が参集しております。あと直近参集者ということで、これは区内在住の市職員ですけれども、東成区役所に参集していただきまして、これが9時30分の時点で14名参集していただいております。

幸いにも、東成区では、今回の地震におきまして、建物、ライフラインへの大きな物的被害の報告はありません。また、人的被害につきましても、閉じ込め等の事案はありませんけれども、負傷者の報告は現時点まではありません。今回は関係者の皆様のおかげをもちまして、迅速に初期対応ができましたこと、心から感謝させていただきます。

今後もしばらく余震が続くことも予想されておりますので、警戒を緩めることはできませんけれども、皆様のご協力を得ながら、防災、減災に努めてまいりたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

以上でございます。

【大藪係長】 それでは、本日の区政会議の開催状況でございますが、委員43名中2

8名のご出席をいただいております。したがいまして、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項によりまして、本会議が有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

続きまして、事前にお送りしました資料の確認をさせていただきます。

まず封筒の中に、次第があります。その裏面には進行表がございます。本日の進行の流れとなっております。

次に資料1として、平成29年度東成区運営方針、資料2として、平成29年度東成区運営方針課題別取組実施状況、次にA3版の用紙を2つ折りにしております資料3、平成29年度区政会議における意見への対応状況、参考資料として、区政会議委員名簿がございます。最後に、平成30年度東成区区政会議質問意見票とクリップ止めをしております平成29年度東成区区政会議委員評価シートについてというもの、そして、返信用封筒がございます。

最後に申し上げました2点について説明させていただきますが、1つ目の平成30年度東成区区政会議質問意見票につきましては、これまでは会議に欠席された方にお送りさせていただいておりましたが、会議の出欠にかかわらず、また区政会議終了後であっても、何かご質問やご意見がございましたら、事務局宛てにお送りいただければと思っております。

2つ目のクリップ止めの平成29年度東成区区政会議委員評価シートについてという資料ですが、こちらはクリップ止めの1枚目に記載させていただいておりますとおり、本日の議題であります29年度の区政運営の振り返りを受けて、委員の皆様から区政運営について個別に評価をいただくシートとなっております。本日の区政会議後に書いていただく時間を設けますので、その場でご提出いただくか、あるいは同封の返信用封筒で後日郵送していただきたいと存じます。また、あらかじめ書いてご持参いただきました方につきましては、最後にそのままご提出いただければと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

皆様、以上で資料の不足はございませんでしょうか。

ないようですので、進めさせていただきます。

次に、資料の一部修正について申し上げます。資料3、平成29年度区政会議における意見への対応状況、A3用紙の2つ折りになっておりますものを出していただけますでしょうか。こちら、1枚めくっていただき3ページ、下にページ番号を打っております。そ

ちらの3ページの一番上の行をご覧ください。左から読み上げますと、17、2月、にぎわい・きずな部会と記載しております。このにぎわい・きずな部会について、正しくは子ども・教育部会でございます。恐れ入りますが、訂正していただきますよう、お願いいたします。

資料の確認は以上です。

また、本日の出席者につきましては、机上に配付しております配席図のとおりとなっておりますので、ご確認をお願いいたします。

続きまして、会議の進行に当たりまして注意事項を申し上げます。

まず、当区政会議は条例により公開することとなっておりますので、ご了承をお願いいたします。

次に、傍聴者の皆様による写真撮影や録画、録音につきましては、円滑な議事運営のため、傍聴者席からをお願いいたします。また、区役所で区政会議の記録を残しておくため、広報担当者を決めております。広報担当者によります会議中の撮影につきましてはご了解いただきたいと存じます。本日の会議内容は、後日、議事録を公開する予定でございます。

最後に、皆様をお願い申し上げます。携帯電話・スマートフォンは、電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。また、会場内での通話をご遠慮いただきますよう、あわせてお願いいたします。

それでは、以降の進行を米原議長にお願いしたいと思っております。

本日、羽鹿副議長におかれましては、所用により欠席されておりますので、ご了承ください。

では、米原議長、どうぞ中央の席にお座り下さい。

【米原議長】 皆さん、こんばんは。米原です。どうぞよろしくをお願いいたします。

議事進行に当たりまして、限られた時間ということもございますので、皆様方のご協力をいただきながら、円滑に進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

ご発言される際には、挙手でその意思を表明いただいたうえで、僭越ながら私のほうで指名させていただきますので、まずお名前をお伝えいただいて、それからご意見というルールをお願いいたします。

それでは、平成30年度第1回東成区区政会議の議事に入ります。本日の議題は平成29年度東成区運営方針の振り返りについてとなっております。

それでは、区役所より説明をお願いいたします。

【麻野区長】 そうしましたら、私から平成29年度東成区運営方針の振り返り、ごく簡単にご説明したいと思います。詳細は追って各部会で担当課長等のほうからご説明させていただきますと思いますので。

平成29年度は、5つの経営課題ということでやってまいりました。安心・安全、子育て・教育、福祉・健康、まち魅力、それから区役所力ということでやっております。一つ一つ細かいところは、先ほど申し上げたように課長から、担当からご説明しますが、ほんとうにかいつまんでだけお話しさせてもらいたいと思います。

まず安心・安全に関しましては、まず1つ目の防災ですね。こちらは、地域の方々によります避難所の運営支援ということを中心にやってまいりました。とりわけ、医師会の皆様、それから災害時協力、登録をさせていただいている企業様、それから学校ですね。学校では防災教育という点でご協力いただきましたけれども、こういったところで連携を進めているところが特徴でございます。

それから、2つ目、それはどっちかというところと安心・安全、安心のほうになるんですけども、事故や犯罪の起きない環境ということで、防犯教室ですとか、あとやっぱり防犯カメラですね。これが非常に有効だと伺っております。それから、事故が起きない環境づくりということで、放置自転車、あるいは自転車マナーの向上ということでやってまいりました。

それから2つ目の子育て・教育ですけれども、まずは学校教育のほうは、地域と学校の連携を強めていきたいということと、学力・体力の向上をテーマとして掲げておりました。区担当教育次長枠という予算がございまして、私は区長でありながら、区を担当している教育次長でもあるんですけども、その予算を使って、平和学習ですとか、国際理解教育を進めてまいりたいということ、あと民間事業者による課外授業、課外学習、これ、端的に言うと塾なんですけども、相生中学で学校の施設を使って塾をやっていただくというような事業も進めております。それから、みんなdeスポーツ教室というのは、これも民間の業者さんと連携しまして、子どもたちに向けっここですとか、縄跳びですとか、そういったスポーツ教室をしていただいたと。非常に好評でございました。それから、子育てに関しましては、子育てネットワークということで、すくすく・つながるクラブというのを立ち上げておりますけれども、これの加入者をどんどん増やしていったという状況でございます。

それから、福祉・健康に関しましては、まず福祉に関しましては、ご高齢者の対応というを中心と考えております。おまもりネットというのをたくさんの方、ご存じだと思いますけれども、高齢者の方の見守りのネットワーク、登録、主治医の連絡先ですとか、ご親戚の皆さん等々、ご登録いただくことで、地域で、地域ぐるみで高齢者の方の見守りをやっていこうと、こういう事業でございます。その中で、また地域のボランティアの方ですとか、専門職の方とか連携を深めて、いろんな勉強会ですとか、セミナーとかもさせていただいております。それから、特に、在宅医療、在宅介護につきましては、医師会、それから歯科医師会、薬剤師会ですとか、皆さん、非常にご協力いただきまして、鋭意進めているところでございます。

それから、健康に関しましては、幾つものイベント等させてもらっているんですけども、特に百歳体操ということで、吉本興業がつくったDVDなんかを使って、楽しく百歳体操を皆さんにやっていただいているということになっております。

それから、まちの魅力に関しましては、これもいろんなイベント、あるいは行事をさせてもらっているんですけども、特にマルチパートナーシップということを念頭に置いてやっております。マルチパートナーシップというのは、いろんな方が活動に参加するという意味なんですけれども、特にそのかなめとなります地域活動協議会、これの運営企画能力の向上ということで念頭に置いてやっております。

それから、企業様との連携ということで、ものづくり体験フェスタですとか、わが町工場見てみ隊といった子どもたち、あるいは地域と企業さんのつながりというような行事もやっております。それから、さらに、さまざまな活動をしたいということで、企業さんだけでなく、大学との連携も進めているところでございます。

最後は、ひがしなり街道玉手箱、これも皆さんご存じかと思えますけれども、毎年11月、たくさんの方とのコラボレーションで、全区的なイベントとしてやっているところでございます。

それから、区役所力ということですが、これも区役所のサービス向上ということで、鋭意努力してまいっておるところでございますけれども、特に、情報発信力強化ということで頑張っております。フェイスブックを立ち上げたり、ホームページを開設したりとかしております。それから、区の予算の事業ではないんですけども、ご案内のとおり、吉本興業さんと大阪市が連携協定を結んでいまして、東成区にも村一番という深江出身の漫才師がおりまして、その方と一緒にいろんなイベントを盛り上げているところでござ

ざいます。

30年度以降の取組みなんですけれども、今後の課題ということなんです、テーマ設定そのものは安心・安全、子育て・教育、福祉・健康、こういったところは、長くまちづくり、こういったところは変わらないんだと思います。ですので、下にまちづくり・社会課題と書いていますけれども、今言ったような課題が、引き続き我々として対応していかなくちゃいけないなと思ってございます。手法としまして、地域コミュニティですとか、地域のボランティアの皆さんにより一層頑張ってくださいような環境を作っていこうということ、それから、パートナーシップですけれども、企業やら大学、あるいは専門学校等々いろいろな連携を深めていきたいなと。いろんな方にまちづくりに参加してもらいたいなと思っておるところです。それから、学校ですね。学校との連携を、区担当教育次長ということで、学校のほうもしっかり見ていきたいと思いますという形になっておりますので、学校との連携もより一層深めてまいりたいなと、思っているところでございます。

報告としては、いろんな項目を立てておりますけれども、一つ一つ皆さんと、地域の皆さん、それから学校の皆さん、企業の皆さん等々とコミュニケーションよく、風通しよく、いろんな声を聞きながら進めてまいりたいなと、思っておるところでございますので、ひとつ皆様方のご協力、ご支援をお願いしたいと思います。

私からは以上です。

【米原議長】 ただいま麻野区長より、平成29年度東成区運営方針の振り返りについてのご説明がございました。

これから、各部会において、課題別取組実施状況と、今後の方針について、区役所から説明を受けた後に、皆様で議論いただきたいと思っております。本日も、皆様からの忌憚のない意見、またできるだけ前向きなご意見をいただき、有意義な会議にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

では、これから全体会議を一時休会し、部会に移ります。部会は、19時25分より20時20分まで55分間を予定しております。各部会の議長さん、副議長さんをお願いいたします。ただし、まず前半45分間は勉強会としまして、後半10分間で意見集約をしていただきますよう、お願いします。部会終了後に、全体会議を再開しまして、各部会から報告していただきます。

それでは、ここで全体会議を一時休会とし、部会に移らせていただきます。進行を事務局に一旦お返しいたします。

【大藪係長】 ただいま議長より部会の進め方について説明がありましたが、補足させていただきます。

進行管理につきましては、各部会議長の席に時計を置かせていただいておりますので、ご活用いただければと思います。

それでは、以降の進行につきまして、各部会の議長と副議長にお願いいたします。

<各部会に分かれて進行>

※各部会議事録を参照

【大藪係長】 それでは、以降の進行を議長にお渡しします。皆様、よろしくお願いたします。

【米原議長】 皆様、熱心な意見交換をしていただきまして、ありがとうございました。

ただいまより、全体会議を再開させていただきます。

それでは、先ほどの部会において、話し合った内容を各部部长からご報告をお願いいたします。

まずは、にぎわい・きずな部会、藤溪議長様、よろしくお願いいたします。

【藤溪議長】 失礼します。まず課題1なのですが、安全で安心なまちづくり、実は一昨日の東成区でも震度4ですか、この災害があったので、災害のことで時間を取り過ぎて、ほとんどこれに使ってしまいました。災害対策本部ができれば、各連合への連絡とかそういったものがどういう形で行われたとか、あるいは無線が使えないだろうかとか、そういった多くの意見が、質問がありましたが、連合町会長と、それから災害救助部長のほうでファクスで報告がされているということでした。

それから、ここは避難所をつくっていただくに当たって、今回いろいろと既に1,800名ぐらいの方があちこちの小学校に避難されているんですけども、その避難所のやっぱり各連合に任せるんじゃないかと、区役所が率先してガイドラインを作るべきじゃないかという意見がありました。例えばペットを持ち込むのはオーケーなのか、どうなのか、こういったことも、ある程度一線を画すようなことを決めておかないと、各連合でかなり困難な状況が生まれるという事例もありました。それから、あと防犯のほうですが、先日、防犯カメラのマップをつくれば抑止力になるんじゃないかと言っていたんですが、プラスマイナスがあるので、検討が必要ということになりました。

それから、防犯の効果があるということで、今度は業者のほうで、各公園に自動販売機を置いて、その自動販売機を中心にかなり高度の高いカメラを設置するというので、これは費用を全部業者持ちということで、今後、公園での安全が確保されるんじゃないかということになっています。

それから、課題4のまちの魅力向上なんですけど、東成区はモノづくりのまちだということのPRがちょっと足りないんじゃないか、もっと広報で宣伝すべきじゃないかということが上げられていました。

それから、5番ですね。ここには書いてないんですが、これですね。区役所力という点で、実は1階のロビーに、一般市民が一番使われる1階ロビーの窓口のところに、やはりテレビを置いて動画を流せば、待っている方がそれを見て、また別の面で皆さんに知らせることができるんじゃないかということが、提案がありました。ぜひとも積極的に考えていただけたらということです。

時間が来ましたので、これで終わらせていただきます。

【米原議長】 藤溪議長、ありがとうございました。

次に、子ども・教育部会、田中議長様、よろしくお願いいたします。

【田中議長】 子ども・教育部会の田中でございます。よろしくお願いいたします。

まずは、ここにおるうちの委員は、子育ても終わり、なかなかこのお題に入っていくのが難しいところでございますけれども、経験を生かしまして、ご意見をいただいております。

まず学校との連携強化ということなんですけども、教育環境につきまして、資料2のほうにアンケート結果が100%と出てきておりまして、どのような内容のアンケートなのかということが委員のほうから出まして、次回、アンケートの、白紙の用紙ですが、何も書いていないのを見せていただくということでございます。

それから、平和学習という6年生を対象にされております。この6年生の意見はどんなやったんやろうということなんですけども、それはアンケートはないということなので、次回、そういうことをされるときは、ちょっと子どもさんの声を講演者の方にフィードバックするような形で書いていただければどうかなという意見でございます。

それから、子育て支援なんですけれども、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブという登録状況が現在1,784名おられるということなんですけれども、まだまだ入っておられない方がたくさんおられるということで、何か登録すればメリットがよくわかる、例

えば商店街で割引があるということなんですけれども、その商店街がどこなのか、ステッカーが小さくて、後ろでは見えないというようなこともございましたので、ちょっとステッカー、もしくはペナントみたいなので、ちょっと考えていただくのはいかがかということです。

それと、メリットなんですけれども、このメリットは、商店街だけではなく、例えば畳屋さんとか、ふすま屋さんとか、大工さんとか、そういうようなところまで広げていけるならば、お願いしたいということ。また、スーパーなんか、特によくお買い物されますので、スーパーなんかに働きかけをお願いしたいということでございます。

それと、区民に配っておる冊子なんですけど、我々も見たことがないものですから、その冊子も提供していただきたいというお願いでございます。

それと、区民が利用しやすく、信頼される役所づくりということでございますけれども、0歳から5歳の子どものひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ、これを充実していたければ、子どもが来れば親が来るということでございますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

【米原議長】 ありがとうございます。

最後に、保健福祉部会の石塚議長様、よろしく願いいたします。

【石塚議長】 テーマが2つほどあったんですけども、あとのテーマについてはほとんどご意見出なかったもので、地域における支え合い、おまもりネットの話題が中心でした。あとのライフステージに応じた健康づくりで、健康づくりの取組とか、食育の講座とか、そういうようなものも、広い意味でおまもりネットに通じるかなということで、そういうお話になりました。

今、おまもりネットのほうが、300人目標で目標は超えたんですけど、その目標の数字はどこから出てきたのかという話もあって、新しく70歳になられた方の3分の1ということも聞きました。それで、周知の取組も、集会所、区役所、スーパーなどで実施していますという話なんですけども、おまもりネットの話で、ここからがかなり議論があったところなんですけども、数を追うだけがいいのかということです。中身をどんだけみんなが共有して、充実していくのか、それが大事じゃないかなという話がありました。だから、数値目標を置くだけで不十分じゃないかなと、その中身の充実が大事なのではないかと、うご意見がありました。

それからもう1つは、日ごろのつながりのない方、特に独身男性の方がやっぱり地域への参加がなかなかされていないので、そういった方々への周知をどうしたらいいのか。多分、ここでも書いていますように、集会所とかスーパーとか、いっぱい出てきている人は女性が多くて、それも日ごろから社会とつながっている方、結構集会所に来る人、それからあとパンジーに来る人、そういう人たちはつながっているけども、特に独身男性、独居者の方、日ごろつながりのない方の周知が一番難しいなど、これが課題かなということでした。

それとあと、やっぱり70歳以上に全部郵送か何かで周知はしているんですけども、ほとんど反応がないということで、それがなかなか届かないんでしょうけども、おまもりがあつてよかったという声、そういったうまく行ったというか、それがあつたから助かったという事例をやっぱりしっかりと皆さんに知らせて、そういうメリットをPRして、もっともって皆さんに関心を持っていこうと、持ってもらおうと、そういったことのご意見もありました。

だから、一番は、やっぱり必要な方におまもりネットがちゃんと周知できて入ってもらえるのか、そこら辺の心配が一番大きい課題です。

それから、さっきの内容の話ですけども、あと情報の更新が課題で、医療機関とかお薬とか、そういったものもしっかりとおまもりネット手帳の中でやっぱり共有できたらいいなということですけど、ただその情報の更新を誰が頑張っているのか、そこら辺が課題かなという話です。

こんなものですかね。大体、こんなものになります。ありがとうございました。

【米原議長】 ありがとうございました。

皆さん、ただいま一通り、各部会の報告をお聞きいただきましたが、ほかに追加する意見や質問などはございませんでしょうか。ありませんか。

【東方委員】 東方ですけども、ちょっとお尋ねしたいんですけども、監視カメラ、防犯カメラですね。多分もう今年度で終わりかなと思うんですけども、台数自体が、最近私の校区の中でも、家の中でちょっとガスボンベに火をつけたりとか、空き部屋に消火器をとられて、そこでまかれたとか、そういういろんな状況が出ているんですけども、基本的に防犯カメラは、道路の通学路とか、道路しか主につけてないと思うんですけども、そういう地域の細かいそういう細い、そういう地域、神路とか、特に東成の中は狭い地域が多いと思うんですけど、そういうところの近くまで、防犯カメラをつけていただきたいなど

思うんですけども、基本的に今までずっと道路とか商店街の通りとか、そういう通りしかつけてないと思うんですけども、まだこれからつけられる計画があるかなと、お聞きしたいんですけど。

【植田課長代理】 防犯カメラですけれども、1,000台、市長が24区、大阪市内全域で1,000台、3年間でつけていくということで、東成については、全部で3年ですかね、33台か34台ぐらい、今年度で一応終わるとのことなんですけども、子どもの見守りカメラという趣旨でございますので、子どもさん、区内の道、どこでも通学はするんですけども、基本的に道路の子どもの、多く子どもさんが通学するところを中心に取っつけるということでございますので、ちょっと確かに神路とかになると細い路地、たくさんございますけれども、ちょっと路地全てには、なかなか設置が及びませんので、そのあたりは皆さん方の見守りであるとか、地域のお隣さんであるとか、いろんな見守りをしていただいて、あるいは一般家庭でも最近、カメラをつけていらっしゃるご家庭とか、事業所とかございますので、そういうようなところを活用して、地域の防犯に役立てていただけたらなと思っております。

【米原議長】 ありがとうございます。

もうないですか、ほかに。

【林副議長】 すみません、林と申しますが、一昨日の震災のことにに関して、ちょっと質問なんですけども、7時58分に震災が起こりまして、その後、約30分から1時間ぐらい、ほぼ電話は通じない状況でした。携帯電話にしても、固定電話にしても。ちょっとその区役所なりに電話しようと思っても、なかなか区役所さんに電話できない。つながりませんね。そちらの方面の電話が混み合っておりましてという感じで。唯一我々の会の中で、LINEというのが非常にうまくつながって、非常にLINE、メールというのはつながったんだろうと思うんですけども、電話のつながりがなかなか復旧しないということで、例えば震災が起こったときに、区役所が多分災害の拠点になって、各小学校とかに災害の本部が立ち上がってという話になると思うんですけども、連絡の、今回のことに関して、連絡というのは非常にスムーズに行ったのでしょうか。手段といたしまして。

【藤原課長代理】 僕も電車の中で緊急通報メールということで受けたんですが、電話で連絡しようと思っても、なかなかつながらない。混線しまして、なかなかNTTとか、ほかの電話会社、なかなかつながらない状況はありました。確かにありました。その辺はうちの危機管理室とか通じまして、改善の余地があるのかなと。

今回につきましては、小学校の連絡につきまして、先ほども被害がなかったということで、ファックスで避難所開設、その辺は各小学校、教頭先生なり、通じました。避難所開設準備のほうをお願いしますということでは通じました。その情報ぐらいで、あと被害がなかったということもありまして、ほかの連絡はなかったんですが、その辺は電話を通じて連絡は通じた状況はありました。

【林副議長】 実際、被害が出てしまったときに、よりスムーズな連絡というのは必要になると思うんですけども、なかなかファックスというのは手段としては、ちょっと一段階置かなあかんで、今後その辺のところはどうなのかなという感じなんですけども。

【大野課長】 今、藤原のほうが答えたように、連絡、電話はなかなかつながらなかったというのは確かです。我々も情報を共有するために、やはりLINEとか、あとメール、そのあたりが有効やったかなというのは、今回よくわかりましたので、そのあたりを中心に、これからちょっと広げていかなしょうがないなとは思っているんですけども。

【林副議長】 ありがとうございます。

【米原議長】 どうもありがとうございました。

もうないですか。

そしたら、本日は各部会の意見を聞かせていただくことで、広く区政の現状と課題、それに対する委員の皆様のお思いがしっかりと伝わったのではないかと思います。ほんとうにありがとうございました。

私からは以上です。

【大藪係長】 米原議長はじめ、委員の皆様方には、スムーズな議事進行にご協力いただき、まことにありがとうございました。

それでは、会議の冒頭に説明させていただきましたが、ただいまより平成29年度東成区区政会議委員評価シートの記入をお願いしたいと存じます。少しお時間をとりますので、最初にご説明しましたクリップ止めの用紙となっております。もしこの場で書くと時間をとるとということで、またご自宅で書かれて区役所宛てにお送りいただくことも結構です。

それでは、まだご記入中の方もおられますが、終了時間を少し過ぎましたので、このあたりで会議を終了させていただきます。

本日の区政会議におきまして、皆様方からいただきました貴重なご意見につきましては、今後の区政運営での参考とさせていただきます。引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

なお、次回の区政会議ですが、11月から12月ごろに開催を予定しております。日程が決まり次第、ご連絡させていただきますので、ご出席のほど、よろしくお願いいたします。

また、書いていただきました評価シートにつきましては、出口に回収箱を用意しておりますので、そちらにお出してください。

また、本日、雨ということで、傘をお持ちの方、お忘れないように、よろしくお願いいたします。

では、以上をもちまして、平成30年度第1回東成区区政会議を終了いたします。本日は誠に疲れさまでございました。